

ふじさき

# 社協だより

Welfare-Fujisaki

Vol.54  
2023



令和5年5月1日発行

編集・発行



社会福祉法人 藤崎町社会福祉協議会

青森県南津軽郡藤崎町大字常盤字富田70の1  
(藤崎町常盤老人福祉センター内)

☎ 0172-65-2056

ファックス 0172-69-5262

mail info@fujisakishakyo.or.jp

【ホームページ】

www.fujisakishakyo.or.jp/



## いきいきふれあいサロン 健康づくり・仲間づくり 生きがいづくり

藤崎町に住む65歳以上の方を対象として、気軽に集い、和気あいあいとした雰囲気の中で、軽い運動や脳トレを通して『地域の仲間と一緒に楽しく過ごす』活動を行っております。



### ◇ 今回の内容 ◇

いきいきふれあいサロン…………… P 1	災害協定について…………… P 6
令和4年度藤崎町社会福祉協議会予算…………… P 2	クリーンロード作戦
令和5年度藤崎町社会福祉協議会事業計画（抜粋）…………… P 3	〇〇〇〇
第4次藤崎町地域福祉活動計画を策定…………… P 4～P 5	編集後記

# 令和5年度藤崎町社会福祉協議会予算 《309,541,000円》

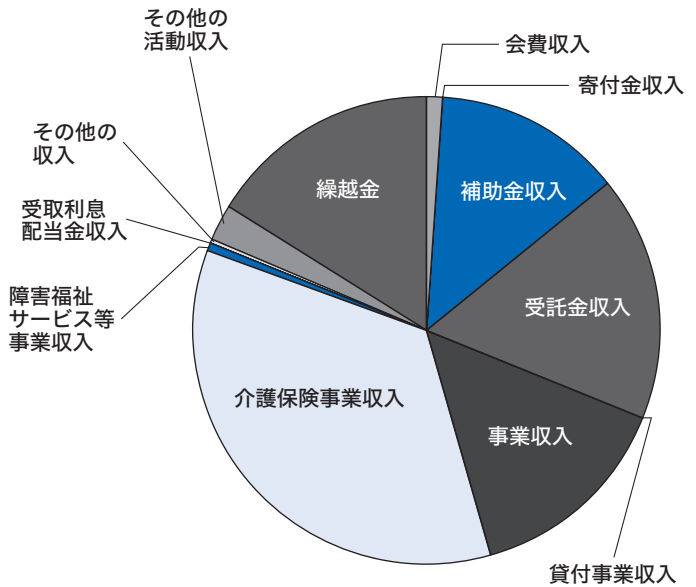
令和5年度予算並びに事業計画が、令和5年3月23日に開催された理事会（理事総数の3分の2以上）の同意を経て、令和5年3月29日に開催された評議員会で承認されました。

## 【収入の部】

(単位:円)

科 目	予 算 額
会費収入	3,541,000
寄付金収入	200,000
補助金収入	40,703,000
受託金収入	51,871,000
貸付事業収入	490,000
事業収入	44,271,000
介護保険事業収入	108,686,000
障害福祉サービス等事業収入	1,818,000
受取利息配当金収入	14,000
その他の収入	776,000
その他の活動収入	7,744,000
繰越金	49,427,000
合 計	309,541,000

収入 309,541,000円

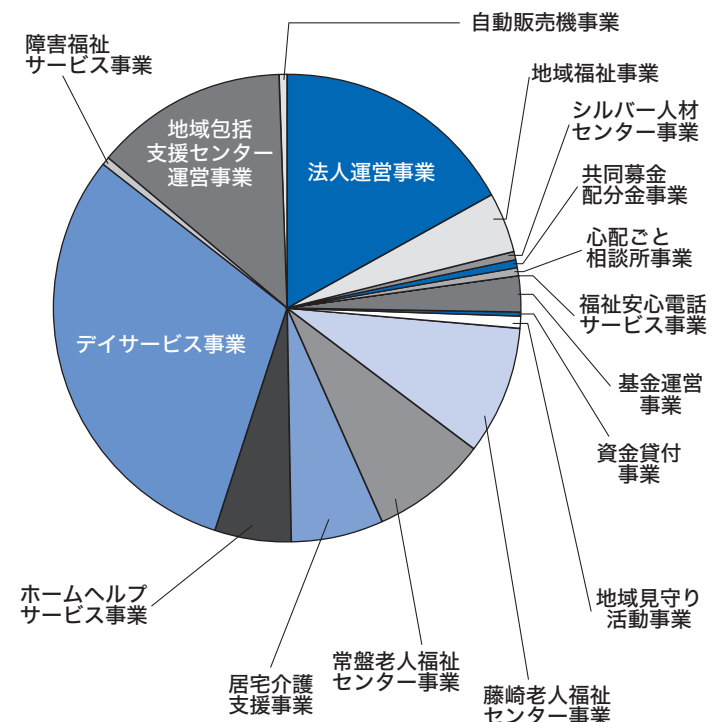


## 【支出の部】 事業別内訳

(単位:円)

区 分	予 算 額
法人運営事業	55,190,000
地域福祉事業	13,751,000
シルバー人材センター事業	2,003,000
共同募金配分金事業	1,532,000
心配ごと相談所事業	1,718,000
福祉安心電話サービス事業	485,000
基金運営事業	8,276,000
資金貸付事業	1,124,000
地域見守り活動事業	2,736,000
藤崎老人福祉センター事業	28,785,000
常盤老人福祉センター事業	25,493,000
居宅介護支援事業	20,791,000
ホームヘルプサービス事業	17,510,000
デイサービス事業	99,974,000
障害福祉サービス事業	1,818,000
地域包括支援センター運営事業	42,943,000
斎壇事業	0
自動販売機事業	1,447,000
内部取引額	▲ 16,035,000
合 計	309,541,000

支出 309,541,000円



# 令和5年度藤崎町社会福祉協議会事業計画〈抜粋〉

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動自粛や規模縮小などが続きましたが、少しずつ事業を再開しております。令和5年度も住民の皆さんが安心安全に参加できるように、地域福祉活動を推進します。(写真は令和4年度実施事業から抜粋して掲載)

## I 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進



一人暮らし高齢者ふれあい昼食会の開催

参加者相互並びに地域ボランティアなどとの交流や余暇活動の充実、生活全般の指導援助に努めます。



福祉安心電話事業

在宅で生活している一人暮らし高齢者を対象に、緊急時の安全と不安や孤立・孤独感の解消に努めます。

## II 地域福祉サービスの推進



いきいきふれあいサロン事業

地域の高齢者や住民ボランティアが集い、交流の場として生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げ、介護予防を行います。

## IV 福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実

(生活福祉資金貸付事業)

低所得世帯などに対して、経済的自立を目的に資金の貸付援助や生活福祉資金の相談、償還計画の相談を行い、関係機関と連携を図り円滑に行います。

(生活困窮者等に対する支援)

複合的な問題を抱える生活困窮世帯を支援するため、関係機関などとの連携を図ります。

・経済的支援、食糧支援など

## III 福祉教育・ボランティア活動の推進



ボランティア活動推進校の推進  
常盤小学校福祉体験学習

小・中学校をボランティア活動推進校に指定し、児童生徒の福祉への理解と関心を高め、心豊かな人材の育成を目的に、各校で福祉活動に取り組みます。



出産祝い事業

満1歳未満のお子さんを養育する保護者に対して紙おむつを支給し、出生を祝福するとともに、社会福祉の理解と関心の向上に努めます。

## V 社協基盤の充実・強化





第4次藤崎町地域福祉活動計画（令和5年度～令和9年度）は、藤崎町社協の基本理念である子どもから高齢者まで「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を目指し、地域における様々な福祉課題の解決に向けた取り組みを官・民協働で組織的かつ計画的に事業を推進するために策定された民間の活動計画です。

〈実施事業〉

- ①地域見守り活動事業（町受託事業）
- ②福祉安心電話サービス事業
- ③一人暮らし高齢者ふれあい昼食会の開催
- ④シルバー人材センター事業
- ⑤福祉団体などへの支援
- ⑥各種団体などへのPR活動
- ⑦第4次地域福祉活動計画の進行管理



- ①デイサービス事業（介護事業・町総合事業・保険外事業）
- ②ホームヘルプサービス事業（介護事業・町総合事業・障害者自立支援事業・保険外事業）
- ③居宅介護支援事業（町受託事業である要介護認定調査含む）
- ④地域包括支援センター事業（町受託事業）
- ⑤生活支援体制整備事業（町受託事業）
- ⑥いきいきふれあいサロン事業
- ⑦軽度生活援助事業（町受託事業）
- ⑧福祉有償運送事業（町受託事業である移送サービス含む）
- ⑨高齢者世帯等除雪・巡回等事業
- ⑩介護予防・生活支援等サービスプロジェクト会議等の開催

- ①社会福祉大会の開催
- ②子育て応援ネット事業
- ③出産祝い事業（子育て世代とつながる）
- ④ボランティア活動推進校の推進
- ⑤福祉体験学習事業
- ⑥社会福祉士養成実習（大学生）の受け入れ
- ⑦ボランティアセンターの充実及び人材育成
- ⑧災害ボランティアネットワークの構築



- ①社協広報紙の発行
- ②社協ホームページの管理
- ③心配ごと相談所事業（町受託事業）
- ④広域法律相談所事業
- ⑤日常生活自立支援事業
- ⑥福祉サービス苦情解決第三者委員の設置
- ⑦紙おむつ支給事業
- ⑧福祉器具の貸出事業
- ⑨生活福祉資金貸付事業
- ⑩たすけあい資金貸付事業
- ⑪有職知的障害者交通費助成事業
- ⑫公共施設の運営（町指定管理）
- ⑬生活困窮者に対する支援



- ①役員研修会の実施
- ②理事会・評議員会の充実
- ③職員の処遇安定
- ④資格取得の促進
- ⑤各種研修会への参加
- ⑥人事考課制度の導入
- ⑦公費助成の確保
- ⑧基金の管理
- ⑨収益事業による自主財源の確保
- ⑩社協一般会員・特別会員・賛助会員の加入促進
- ⑪共同募金運動への協力

〈連携・協働〉

住 民

町内会

ボランティア

行 政

民生委員  
児童委員

関係機関

関係団体

学 校

企 業

社会福祉施設

医療機関

# 第4次 藤崎町地域福祉活動計画を策定

## 〈基本理念〉

藤崎町地域福祉活動計画の目指すもの  
「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」

## 〈基本計画〉

### ①住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

子どもから高齢者まで、住み慣れた地域において安心して生活ができるよう、地域の実情に応じて住民参加を主体とした小地域福祉活動を推進します。

### ②地域福祉サービスの推進

住み慣れた地域において自立して生活ができるよう、福祉サービスを充実します。

### ③福祉教育・ボランティア活動の推進

子どもから高齢者までの福祉教育の充実・意識改革を図ることにより、住民が主体的に参加する福祉のまちづくりへの活動意欲を高め、住民参加の拡大を図ります。

### ④福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実

住民の日常生活の支援ができるよう、福祉情報の提供及び総合相談や生活支援機能を充実します。

### ⑤社協基盤の充実・強化

社協が地域福祉活動を推進する中核として、様々な福祉事業が積極的に推進できるよう、その基盤となる役員組織、職員体制及び財政基盤の強化を図るとともに、社協会員の加入促進を図ります。

第4次  
藤崎町地域福祉活動計画



藤崎町地域福祉計画

(社会福祉法に規定された市町村福祉分野の総合計画)

## 災害協定について

藤崎町と町社協は、3月24日(金)、「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を締結しました。

この協定は災害ボランティアセンター開設・運営時の町と社協の役割を明確化したものであり、災害発生時には、迅速に被災者を支援することが可能となります。

平田町長からは「昨年のような大雨や台風はいつ起こるか分からない。協定は有事の際、最小限の被害にとどめるために大きく寄与すると思う。連携を強化し万が一に備えたい」と述べられた他、山内会長からは「安心して暮らせる町づくりを目指すためにも協定が必要となる。町との強い連携を維持しながら、災害ボランティアセンターの設置・運営に万全を期したい」と述べられました。



## クリーンロード作戦(4月16日実施)



4月16日(日)、当日は雨天にもかかわらず、藤崎町一斉クリーンロード作戦が実施され、町内会や老人クラブ、婦人会、子ども会など多くの方々方がゴミ拾いに協力していただきました。

拾い集めたゴミの総重量は1.6tになりました。

各町内で集められたゴミの回収には、藤崎町と藤崎町建設協会の協力を得てトラックを派遣していただき、町とスポーツ協会、町職員組合、町社協職員厚生会に回収ボランティアとしてご協力していただきました。

藤崎町在住の高齢者等で、常時在宅で介護を要する状態の方に対して日常生活用具を貸出することにより、その家族の経済的負担の軽減を図ることを目的に事業を展開しています。

**対象者**：当町に在住している高齢者等で、常時在宅で介護を要する状態の方(寝たきり、認知症、重度身障者(児))。

**料金**：日常生活用具の貸出利用料は無料としておりますが、日常生活用具に係る消毒代は別途貸出時に徴収しております。

**介護用ベッド**：2,000円

**マットレス**：1,200円

**車椅子**：1,200円



※お問い合わせは藤崎町社協までご連絡ください。  
藤崎町社協 TEL：65-2056

## 編集後記

桜の開花が例年より早く驚きました。弘前公園では昭和22年以来の観測で最も早いそうです。

天気が良く、風が弱い時の夜桜が好きです。水面に映る桜が鮮やかなのでおすすめです！



(4月16日撮影)